2022年度 春 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

要請番号（JL61822A04）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マダガスカル	A101 コミュニティ開発	20～45歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・2022/4 ・2023/1

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

農業・畜産省

2）配属機関名（日本語）

アンバトランピ郡農業・畜産支所

3）任地（ｳﾞｧｷﾅﾝｶﾗﾁｬ県ｱﾝﾊﾞﾄﾗﾝﾋﾟ郡ｱﾝﾊﾞﾄﾗﾝﾋﾟ市） JICA事務所の所在地（アンタナナリボ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ﾊﾞｽ で 約 2.0 時間）

4）配属機関の規模・事業内容

配属先は、ヴァキナンカラチャ県農業・畜産局の管轄下に置かれ、アンバトランピ郡の農業普及や村落開発事業を実施している。同県は、マダガスカルの中央高地にある野菜栽培・果樹栽培・稲作が盛んな地域で、JICAでは、2008年から生活改善の取り組みを支援しており、現在は技術協力プロジェクト「コメセクター生産性向上及び産業化促進支援プロジェクト」(2020～2025)、「食と栄養改善プロジェクト」(2019～2024)を実施中である。同支所には、2020年1月まで初代JICA海外協力隊員が派遣されており、今後、同任地には小学校教育隊員を派遣予定である。

【要請概要】

1）要請理由・背景

配属先は、JICA技術協力プロジェクトにおいて、コメの生産性向上を目指して作成された稲作技術パッケージを農民たちに普及・モニタリング強化することや、農民たちの収入向上を目指している。また、同支所は日本の農村地域開発手法である「生活改善アプローチ」の有効性を認識し、農村部の住民の生活向上や生産活動を促進する目的で同アプローチを普及したいとの意向があるが、現場でのきめ細かい観察やサポートを実施するに至っていない。国内でも農業が盛んな中央高地において、同支所では、多数のJICA技術協力プロジェクトに関連した事業を実施していることから、関係者らと協力のもと、農民の生活改善や収入向上に資することを期待して、JICA海外協力隊員の要請が挙げられた。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先関係者や農業普及員等と協力しながら以下の活動を行う。

1. 住民の生活実態や家計を調査・把握し、ニーズと改善の可能性を探る。
2. 住民のニーズに対して、生活改善のためのアイデア(栄養改善、改良かまど、住居改善、家計研修等)を提案したり、活動や研修の実施支援を行う。
3. 農家や農家グループの収入向上(販路拡大、食品加工、収入管理等)に関する支援を行う。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

配属先備品。JICAが作成した生活改善に関するDVD・パンフレット・資料。

4）配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: 郡農業・畜産支所長(女性)、郡農業担当官(男性)、その他職員4名

活動対象者: 農業普及員、地域住民、農家グループ、生活改善普及員(約3名)

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
マダガスカル語	マダガスカル語	英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（　　　　）　　　　　　　　[学歴]：（　　　　）　備考：

[性別]：（　　　　）　備考：　　　　　　　　[経験]：（　　　　）　備考：

[汎用経験]：

・ワークショップやイベント等の企画運営経験

[参考情報]：

・参加型開発の知識があるとよい

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候）　気温：（1～30℃位）　[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可　電話可）　[水源]：（不安定）

【特記事項】

・派遣前語学訓練では公文書等で使用されるフランス語、現地語学訓練ではマダガスカル語を学習する(共に公用語)。
・移動手段に関しては、遠方の農村での活動も想定されることから、公共交通機関や自転車を利用することも可能。

【類似職種】

・野菜栽培
※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.